

未来を創る、街づくり。

安全

防護柵のためのコンクリート基礎ブロック

自在R連続基礎

環境

炭素排出量を軽減する素材を使用した

脱炭素実現技術



(株)イビコン / (株)坂内セメント工業所

未来を創る、街づくり＝持続可能で安全な街

Point
01

安全

日常生活にて当たり前のように使用する道路。
生活する人々の安全・安心を実現します。



Point
02

環境

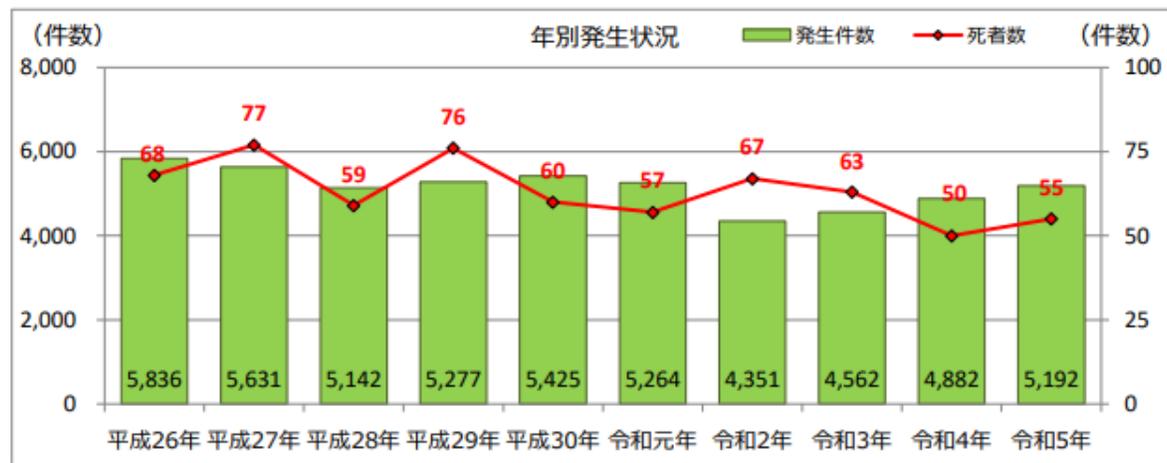
未来の社会が必要とする地球環境や自然を
損なわない街づくりを実現します。



安全

●日常生活に潜む危険

歩行者交通人身事故の発生状況



自動車の安全技術により交通事故件数は減少傾向にあるものの、歩行者人身事故は依然として発生している状況

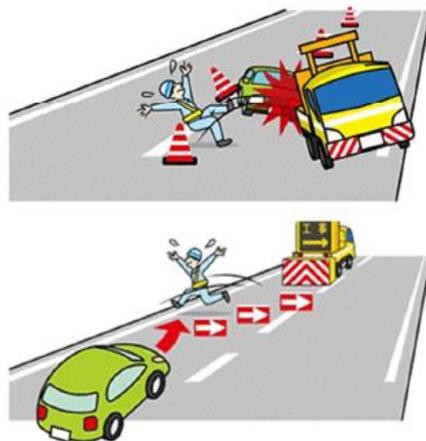
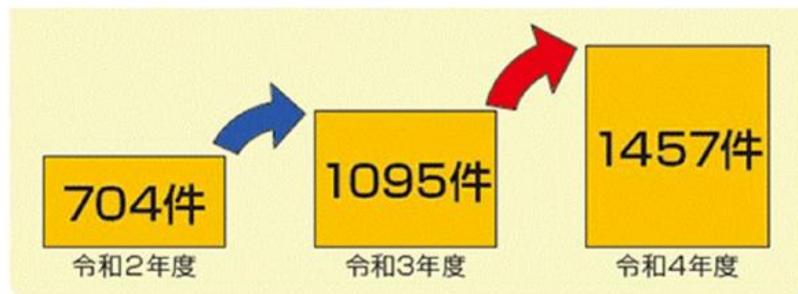


安全

●増加する工事作業帯の事故

高速道路での工事規制進入事故の件数

●高速道路での工事規制内進入事故件数の推移 (令和5年NEXCO調べ)



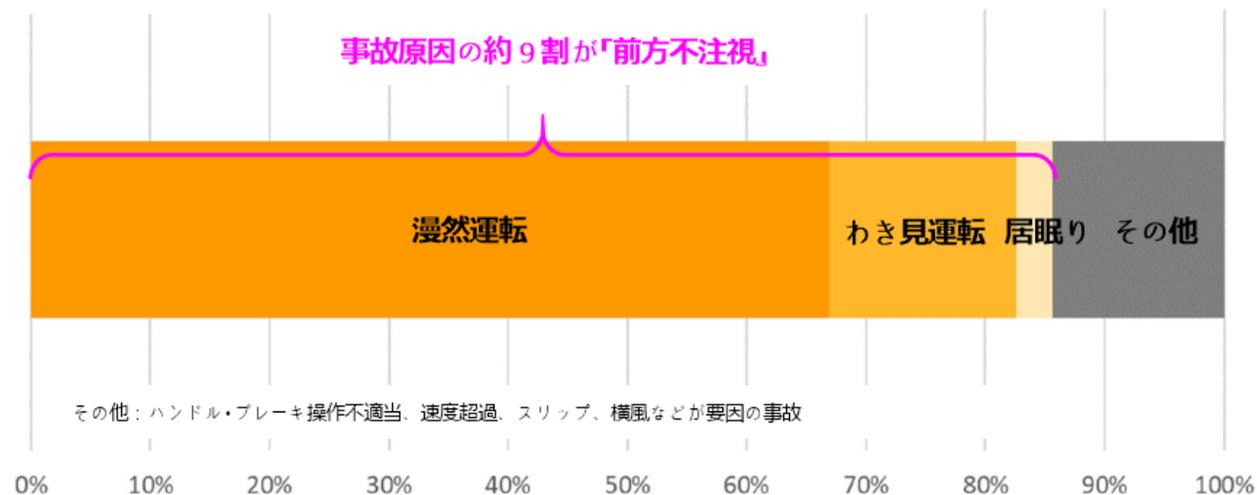
高速道路上の工事規制内への進入事故件数は年々増加している

安全

●増加する工事作業帯の事故

高速道路での工事規制進入事故の件数

●工事規制内進入事故の原因 (令和5年 NEXCO調べ※)



- ・運転支援機能(自動運転)の過信
- ・スマホなど「ながら」運転の増加

安全

●道路の安全・安心を実現するために

適切な安全施設を設置



自在R連続基礎

安全

●自在R連続基礎



1 安全性

車両の誤侵入を防止、
衝突時に発生する
エネルギーの緩和。



2 適応能力

歩道防護から高速道路
まで幅広く対応可能。



3 曲線対応

道路線形に併せて曲線
を描く。



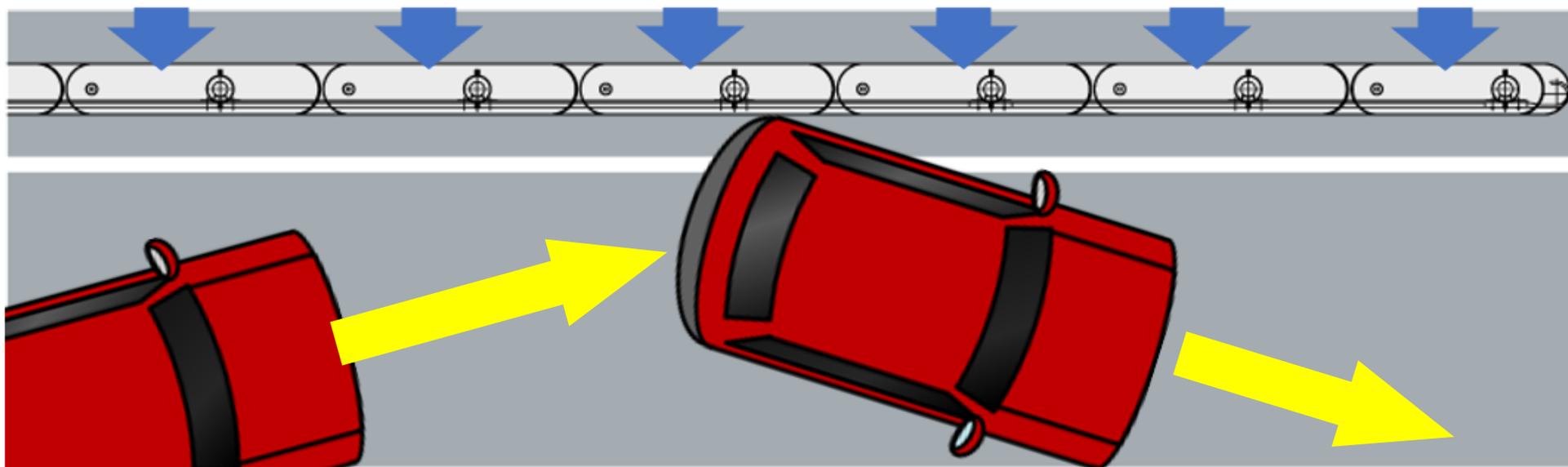
4 施工性

即納品、即設置。

安全

1. 安全性

連続基礎全体で車両の衝突に対して抵抗



安全

1. 安全性

唯一のRPCA製品審査適合技術

※2024年5月現在

RPCA製品審査適合品

道路プレキャストコンクリート工指針

(一般社団法人道路プレキャストコンクリート製品技術協会)

令和5年6月 第二版改訂

第7編 防護柵工編 路面設置型

【適応条件】

品種区分：路上設置型 路肩用 B種

規格の範囲：B型・A型・A型偏芯・H型・N型



(国土交通省) 民間審査制度 の活用

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
民間審査制度の活用	民間による品質管理の比較整理	活用可能な審査制度の検討と課題整理	発注者ニーズの調査・把握（試行の準備）	・審査制度導入の枠組みの検討 ・審査制度の試行

プレキャスト製品を活用するにあたりコスト面における課題や品質管理項目が多い等の理由から、施工段階での普及が伸び悩んでいる現状。民間で認証している審査制度等を直轄工事に取り組み、品質管理の効率化を図る。

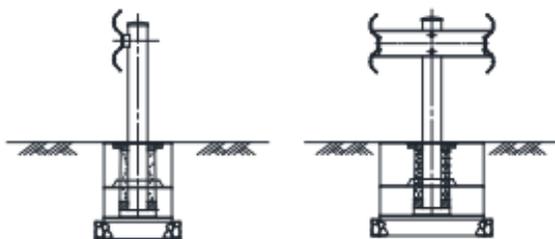
安全

2. 適応能力

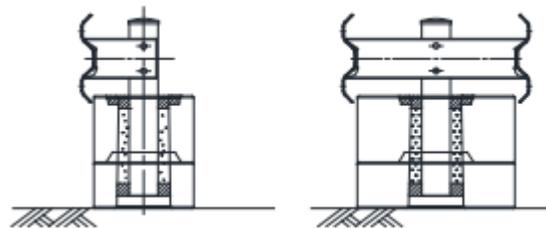
現場状況に併せて安全な防護柵の設置を実現

- 埋設防護柵基礎、路面置き式設置防護柵基礎として利用可能
- 基礎幅、高さの異なる8種類の規格

埋設設置



路面置き式設置



安全

2. 適応能力

1



A型・B型・S型

曲線対応能力の高いスタンダードな形状

2



H型・N型・F型

高規格道路(SB種)対応型

3



RS基礎

土留機能を兼ねた底版付形状

4



交差点用自在R連続基礎

基礎高300mmの最浅形状

歩行者安全対策



高速道路



歩行者滞留部



工事作業区間

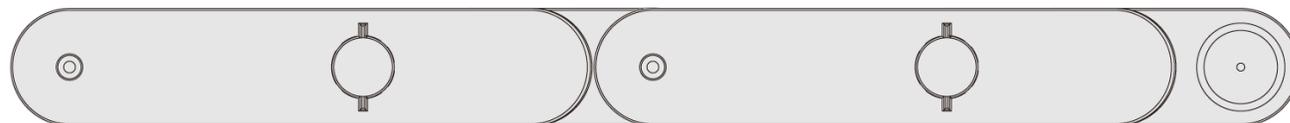
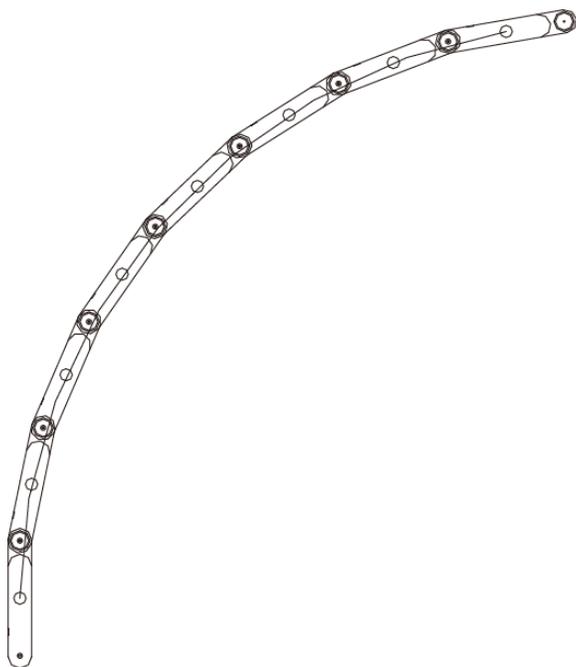


安全

3. 曲線対応

ボルト連結+R形状が可能とする曲線対応

- ・ 基礎は最大90° 折れでも接続が可能

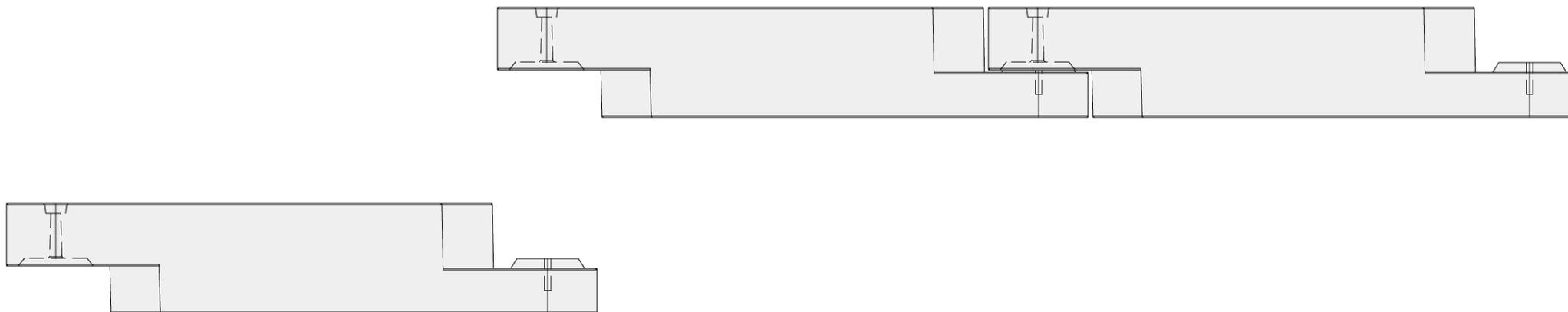


安全

4. 施工性

設置は上下組み合わせ+ボルト連結のみ

- ・ 特殊な技能、生コンは一切不要



Point
01

安全

4. 施工性

日本全国即納品対応可能



災害発生時の緊急・応急安全対策として活躍

安全

自在R連続基礎による歩行者安全対策



自在R連続基礎による歩道の確保

Point
01

安全



交差点用自在R連続基礎
基礎高300mmの最浅形状

自在R連続基礎による歩行者安全対策

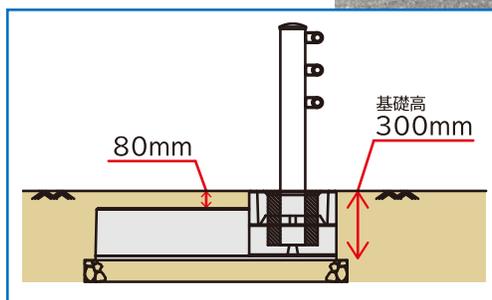
基礎高300mm
(支柱根入れ250mm)

車止め(ボラード)
設置対応可能

連続延長 5m
(B・C種)



車両重量:1.17t
車両速度:45km/hr



安全



H型・N型・F型
高規格道路（SB種）対応型

自在R連続基礎による工事規制箇所安全対策



- 床版取り換え工事など、工事区間の安全対策をしたい
- 暫定供用区間の安全を仮設防護柵で実施したい

脱炭素社会を実現する素材を用いた製品

自己治癒コンクリート『Basilisk』



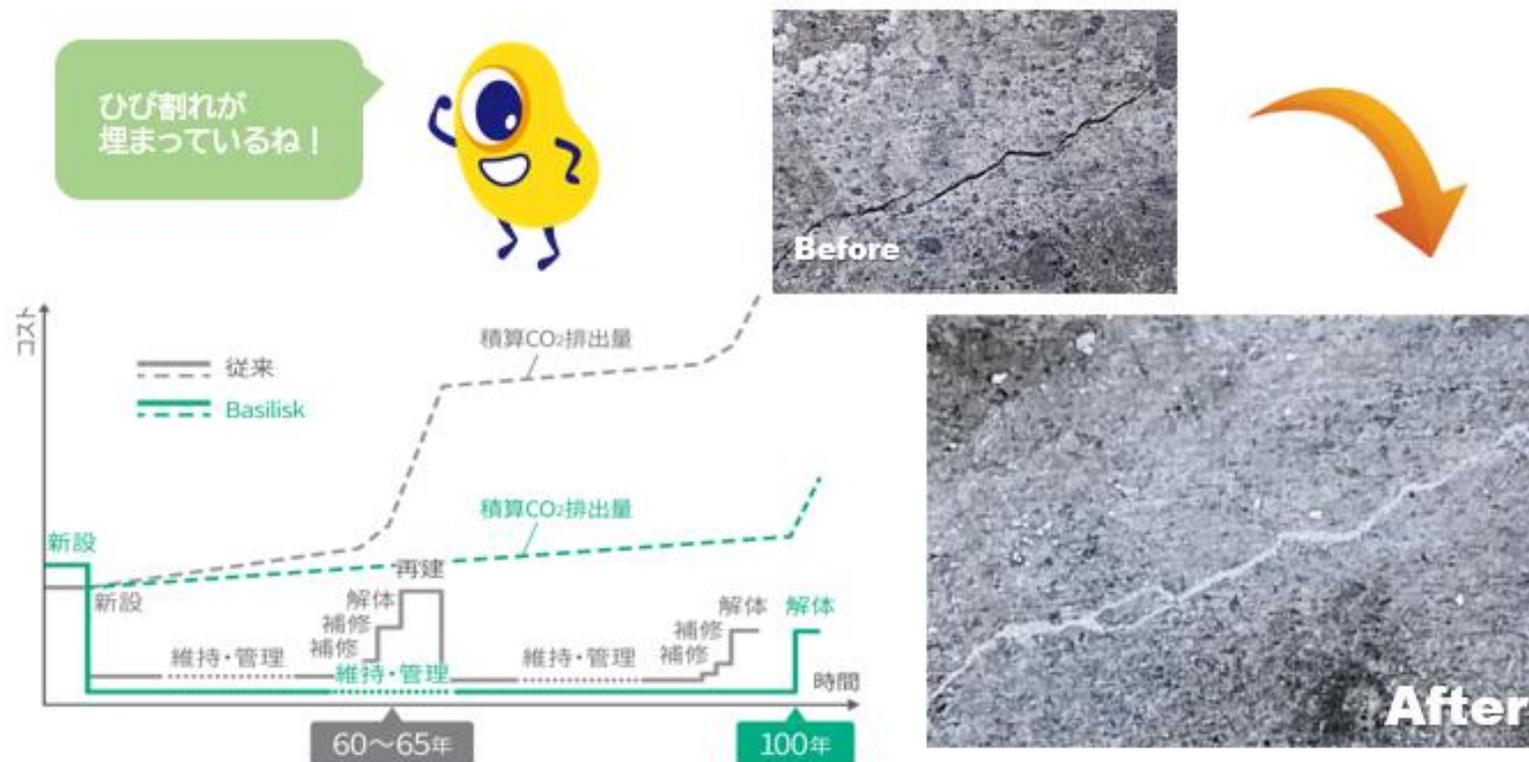
内在した細菌により ひび割れを自己修復

- 耐用年数UP
- 補修時・取替更新時のCO2削減
- ライフサイクルの軽減

環境

脱炭素社会を実現する素材を用いた製品

自己治癒コンクリート『Basilisk』



環境

脱炭素社会を実現する素材を用いた製品

自己治癒コンクリート『Basilisk』

**イビコン
バジリスクでP・Ca樹**

三重県内で初の実績

イビコン（岐阜県大垣市、清水義弘社長）は、三重県内での初の実績として、令和4年度東海環状北勢IC道路建設工事（三重県いなべ市北勢町）のコンクリート製品を納入したと発表された。三重県では、当初は通常のコンクリートで計画されていたが、同社が施工者である

朝日土木に対してバジリスク製成を提案し、採用された。中部整備では、2021年度からカーボンニュートラル対応施工事を実施しており、セメントの55%を高圧蒸気型コンクリート製成の採用実績がある。また、バジリスクは国土交通省の新技術提供システム「NETIS」に登録されており、バジリスク製成することで、工事発注時の加算評価につながる。2022年8月に「NETIS」に登録されている、全国初のコンクリート製品メーカーとして構成する「NET ZEROイニシアティブ」でバジリスクの普及を図っている。



バジリスクを用いたAS樹

北勢国道事務所
令和4年度東海環状北勢IC道路建設工事
朝日土木株式会社
2024/01/17



▲0.11_{t-CO2}

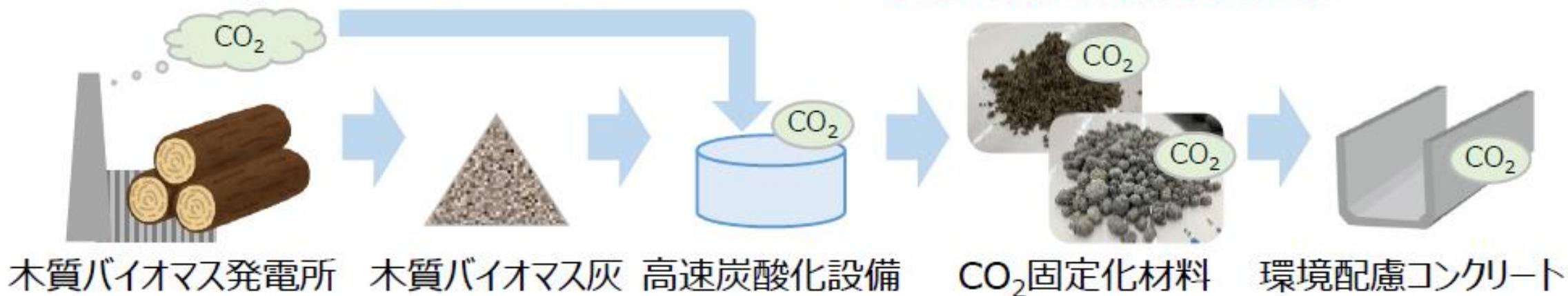
certificate of NET ZERO

脱炭素社会を実現する素材を用いた製品

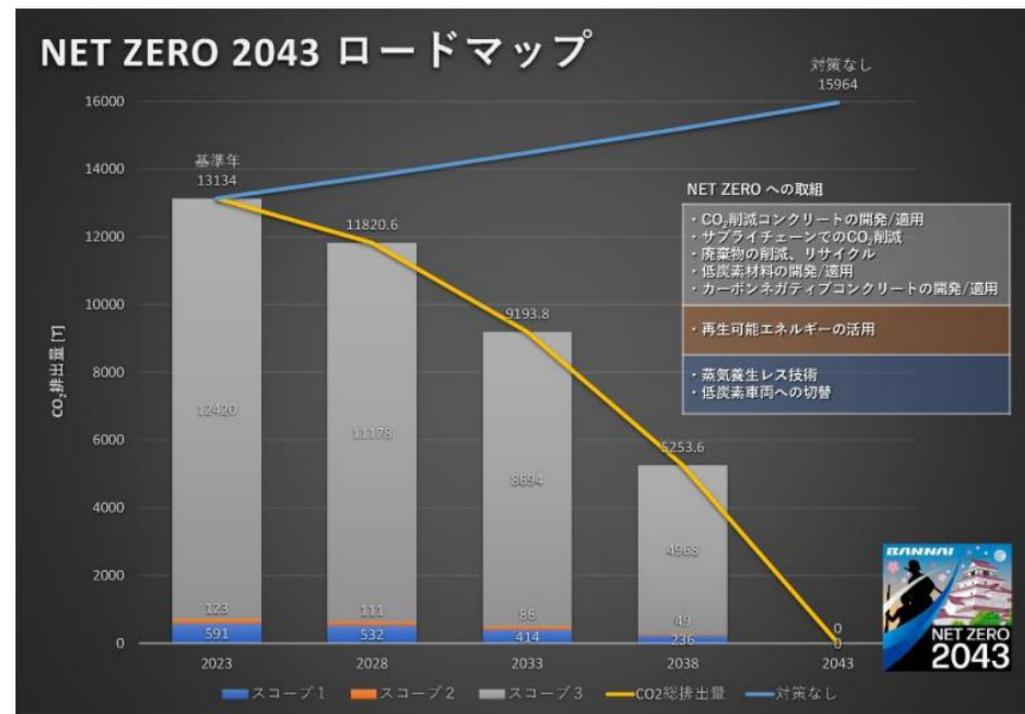
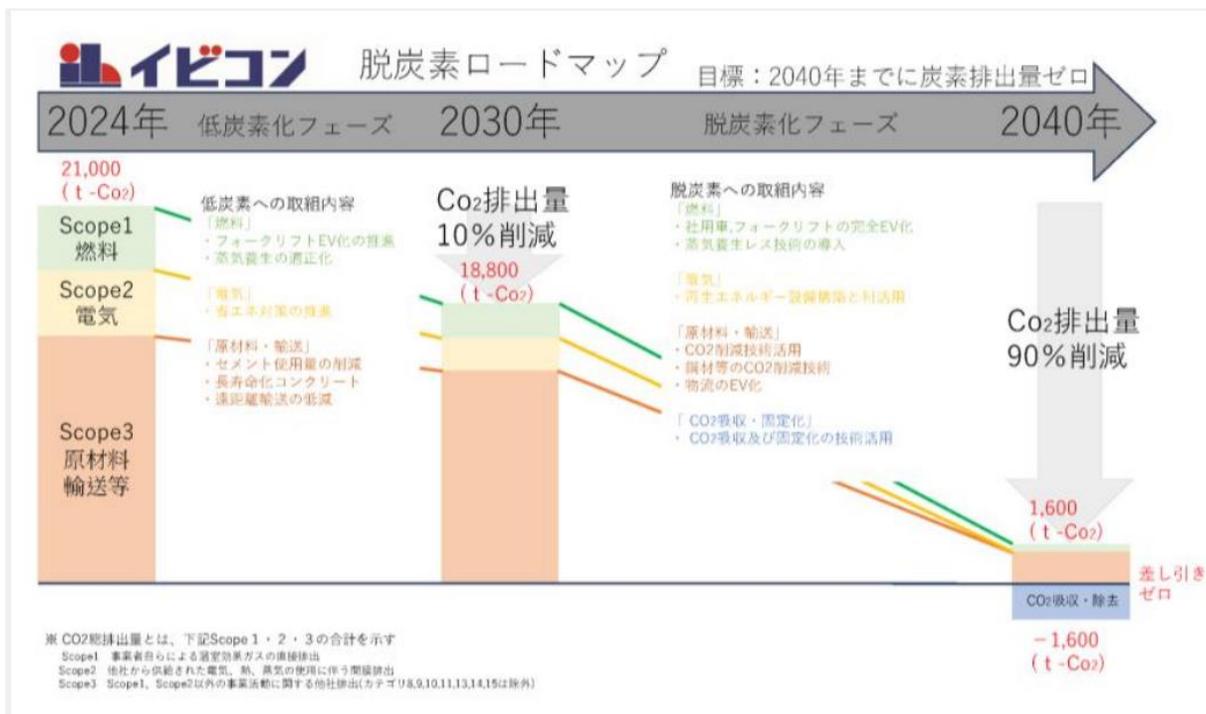
CO₂固定化コンクリート 『Carbonel』

■ 木質バイオマス灰のリサイクル

- ✓ 資源（バイオマス発電により得られる電力・燃焼灰）の**地産地消に貢献**します。
- ✓ CO₂固定化材料は天然材料の代替となり、**天然資源の枯渇を抑えます**。



炭素排出量ゼロへのロードマップ



ブースでは様々な製品をご紹介

工期短縮NO.1



外フラット柵

坂道の段差解消



FR横断側溝

除雪時の衝撃解消



エッジレス横断側溝

未来を創る、街づくり＝持続可能で安全な街



Point
01

安全

日常生活にて当たり前のように使用する道路。
生活する人々の安全・安心を実現します。

Point
02

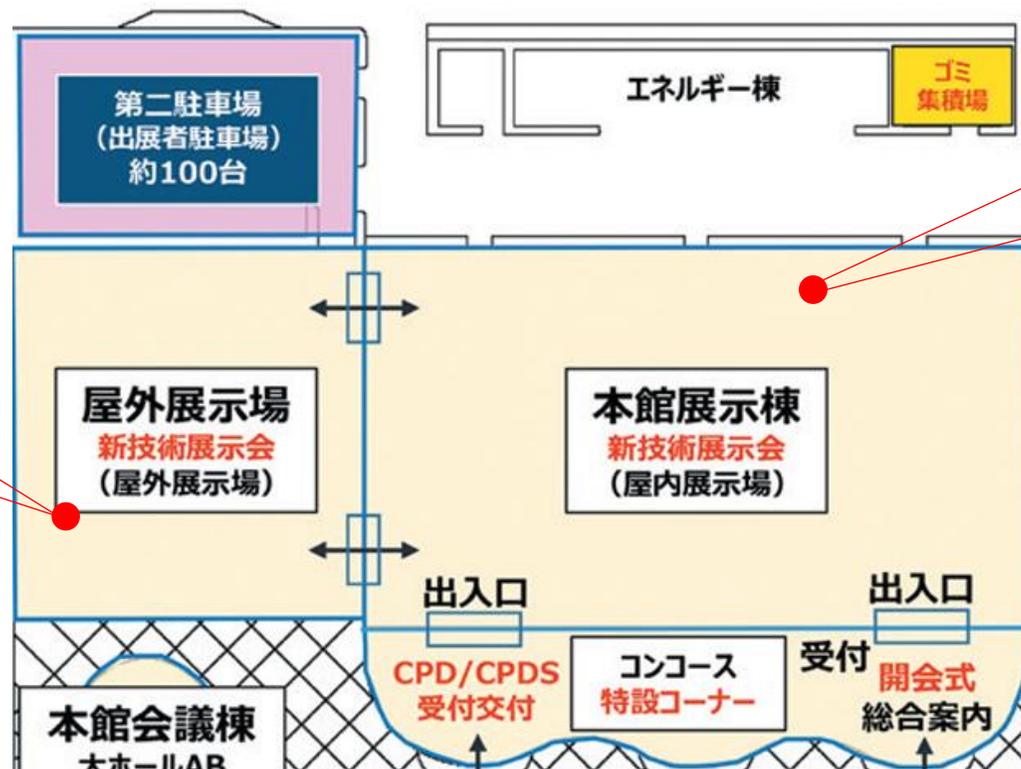
環境

未来の社会が必要とする地球環境や自然を
損なわない街づくりを実現します。



展示ブースのご案内

A-508 坂内セメント工業所	D-502 横江コンクリート	B-501 EX・ダンビ
A-509 藤田建設工業	A-510 日立建機日本	C-501 東北ペガサ
		C-503 日本海上



A-028 鹿島建設	A-027 丸万コンクリート	A-026 イビコン/坂内セメント工業所	A-025 タキロンシーアイシビル	A-024 八千代エンジニアリング
A-0101 Masters シオテツ工法研究会	A-082 日本キャタピラー		A-081 三信建設工業	A-062 栗本鐵工所
A-0100 鉄建建設			A-080 若築建設	
A-099 ユーシー産業	A-083 イージースラブ橋協会		A-079 不動テトラ	A-063 日本橋梁建設協会

A-508

坂内セメント工業所
※実物展示有

Point
02

環境

A-026

イビコン/
坂内セメント工業所

Point
01

安全